

中東地域情勢研究会 第24回研究会を行いました

2026年1月7日

INPEXソリューションズ(SLT)と東京大学先端科学技術研究センター(RCAST)、池内恵教授の研究室による中東地域情勢研究会では、昨年12月17日に第24回研究会を行いました。今回の研究会は、アラブ首長国連邦アブダビのJODCO事務所Board Roomで、対面とオンラインとのハイブリッドで開催し、「GCCの均衡外交－イスラエル主導の中東新秩序の中で－」のテーマで議論をしました。



ガザ紛争勃発以降の2年間で、中東各地で影響力を強めていたイランの支援する「抵抗の枢軸」勢力は、イスラエルの軍事攻撃によりその力は弱体化したと言われ、イスラエルの軍事的優位がクローズアップされ、これら一連の状況から、中東地域秩序の再編成が言われています。今回の研究会では、進む中東新秩序の形成と、それに対して湾岸諸国は

どのように対応しようとしているのかにつき、域内外諸国との関係にも言及していただきながら、池内教授の報告を受けて、研究会参加者で検討・議論を行いました。



(株)INPEXソリューションズでは、中東地域情勢研究会を通じて、今後も中東・ユーラシア地域の情勢を解説・発信していきます。

以上